



あつてないような理由でインダストリアル7高校に女生徒として転入してきたバナーツと
同校の教諭であるダブゼ先生がイチャイチャいるお話2016年版。
前回のお話との繋がりはありません。

SECRET OF MY BABY VR.M



バナーツも
来ーい！

7

数日前

えーっ
バナージ
行かないの？

海だよ

リゾートだよ？

んー

だけど それ……
水泳部の子ばかり
来る旅行だ……

……でしょ？

さすがに
少し
気まずいよ

でもお

ダグザ先生から
バナージが水泳部の
マネージャーに
なったって聞いたよ？
良い機会じゃない

ねー

それだけど
……

何してる

コラ





掃除は
終わったのか？

あ

ええ

はいっ

あらかたお

わ

オニ

冷たい

ご苦労さん

これでも
飲んで水分補給
をしておけ

ありがとう
ございます……



水着に
着替えて
きていいぞ

ずっと泳いで
ないんだろう？

特別に
貸切にさせて
やるから

え…

あ

でも…

？



う...うん

収まりが悪過ぎて...

コレ...

布を前に回すと後ろに食い込むし

きっと... 泳いだら はみ出て来るんじゃないか...

と



ズッ

待っ

お心可

クッ

おっ
おっ
おっ

クッ

おい
バナージ!

平気か!?

…はっ

う…



は...

なるほど

確かに

この水着で泳ぐには無理があるようだ

ストル

ダグザ 先生...っ?

ガニ

ッ

ッ...



ダグザ
先生……!

なんだ?

いったい
どうした

とほけ
ないで
下さい

なんです
この手は

さ
触り方……っ

とほけるも
何も

脱ぐのを
手伝って
いるんだろう?

グ

君が帰りたいと
言うから

ちよ





ダメですよ…

は…

こんな
ところで…

わかっている…

気をつけて
帰りなさい

ダグザ
先生…



今日の掃除で
体育の単位は
補填された

現社の課題も
しつかりと
やっておけよ？

え…



ではな



ニハ

「#」
「ユ」
「…」

「は…」
こんな
状態で

帰れって…？

「そんな」

「な」

「は…」
おれ

「は…」

「は…」

「は…」

「は…」

「は…」



...うん

は...

っ

は

は



もの足りない……

こんな場所で
なにをやつて……

おれは自分の
手じゃ——
もう……？



大きくて

節くれ立ってさーん...

長い指

あれが



おれいお

アム...

ヒッ
ッ

ッ

ッ

ッ





バナージ...?



おい

どろろした!?

バナージ!

しまった...

放置し
過ぎたか?

せん...

せい?

どろろ...

帰ったんじゃ...

アム...

さまじ...

おれは...

いや

は...

は...



それより…
コレはなんだ？



でもっ
それは

せ…先

せ…先



生がッ

ちゅ
ちゅ

んっ

んっ



ここでは
駄目だと
言っておいて

独りでして
いたとはな…

そんな…っ



アッ

はっ

あっけないな...

ひはっ

は...はっ

は...はっ



はっ...

んふっ

んふっ

はっ

んふっ

バナージ...

はっ...

BL MAGAZINE



先生……

そこ……っ

ちがッ

チガッ

あ……っ

えっ?

うん?

おれは……
お前の腹と擦れ
て割と良いぞ?

うう……

そんな……っ

チガッ

え……っ

ならば……
このまま
出させて貰おう

キキッ

キ

キッ

嫌だッ

た確かと……
思くは……
くもは……





せんせ...

は

おははは

は

お奥まで

お奥まで

来てる

...ツツ

おははは

カッ

ドン



ガ
ー
ハ

まあいい

おい
バナージ

おれの首に
しがみつけ

カ
ハ

あ...

は

おっと!



.....?

は



ぽ
し



フー...

もう限界か?

んっ
少し...力が
抜けただけ
です.....

...少し?

ちや
ほ

ッ

ちや
ほ

は



カッ

カッ

カッ

!!...!!

ド

ド



カ

カ

カ...

ア

うぐっ

ダグザ
せん せ...

ニヤン

...初めて
だったか?

ニエル

フ

ツそんなの

ずっと
奥まで

あたり
まえ...

こんな...
格好...

フ...

あ...
駄目だ...

また
勃って...

カ...

カ...

カ...



恥すかしいのに

先生のチ●ポがいつもと違う角度で

突き上げてる

気持ちいい...

おれの

挿す

バナージ...

先

生

頭の中が真っ白になる

強き回されて

好きなのツクスグズに

挿すれます



は
は
は

は
は
は

は

は



ごめん
ミコット...



おれ...
そっちは行け
そうじゃないよ

END

HOTEL

軍人さんとおれ

天仗のお仕事

母が遺してくれた
保険金を銀行から
差し押さえられて
しまったおれは

生活を支える為に
身体を売っている

「ハイスクール
くらいは
出ておくと

病床の母を安心させ
る為にした約束を
守るためだ

いつもおれを
買ってくれる
このおじさんは

見た目も
態度もお堅い
いかにもな軍
人だけだ

ベッドでは
結構ねちっこい

こう……
ですか？

今夜はおれに
こんな恥ずかしい
服を着させて……

ああ……
いいぞ

良い眺めだ

来なさい

でも
おねも他人の
ことは言えない

母さん……
ごめん

おれは――



おじさんはおれのソコが好きみたいで

ああ…っ
もう駄目…っ

しじくくら
紙の回される

あ…は…
たい…さ…

社田さん
言っただけさ

その間おれは
なにもさせて
貰えない……



おれが苦痛を感じぬようにと理由をつけてくれるけど
違きっとな



……さ…

クワ...

ああ……
凄いな……
君の中は

直ぐにも
極めてしまい
そうだ……っ

長期の任務を終えた
ばかりというおじさんの
鍛え抜かれた肉体から
繰り出されるピストンは
とても激しくて

おれの口からは
次々と恥ずかしい
言葉が溢れ出す

おじさんの
チ○ポ……っ♡
す……っ♡

そんなおれに
おじさんは
静かに興奮
していて

漲った性器を
おれのお尻の中に
深く沈めて奥を
ぐりぐりしたり

もっと
恥ずかしい
体位を要求
してくる

最後は当然の
ように中出し
されてしまった

今回もきつと日曜の
夜まで家に帰して
貰えないんだらうな

そう感じたおれの
身体がじんと痺れた

溢れた精液の
量も半端じゃ
なかった

引きずり出された
おじさんの性器は
まだ硬くて……



マーサの手配した
工作員も未に入パナーシ

スグ水といはば足裏の水を吸ひ
とまひみ一つでサカサカ
サグザグさんガ利特を吸ひ
まひみを入れたらなかつたの
でバカになって頂戴した
MARSA

ザクツツ

そおら どうする？
もう隠すところが
なくなっちゃったぞ

うう...

誰だやめろ
という前に

其処ら中
ピンピンにして
感じてたようだな
坊やは

乳首も
けしからん
カタチさせて

暇とあらば
吸わせ放題にでも
してたんだろ？

相手が男か女かは
知らんが、まったく
いやらしいガキだねえ

どれ

いッ

あんなー

はーいれ
はーいれ
ハキムーカだぞ

ふふ
蛙の子は
蛙ね

妾腹の子でも
ピスト家の
男ならば

せいぜい
強がり続けて
見せて頂戴

壊れてしまった
としたらそれは
その時のこと

そのやわらかな顔も
汚れまじりな顔も

どつちにしら...
この子はもう
駄目かもしれんぞ
助けて...

愛してくれる
男はいくらでも
いてよ

奥付

SECRET OF MY BABY VR.M
2016年8月発行 BlackStar / 84
bstarmal@gmail.com 印刷 PRINT ON

011-4914-7707-0000000000

